

# 令和5年度 第1回東広島市地域公共交通会議 議事録

## 1. 日時

令和5年6月29日（木）15：00～

## 2. 場所

東広島市役所 本館4階（403）

## 3. 出席者

塚井会長、井上副会長、山口委員、見崎委員、渡瀬委員、山根委員（代理：鴨下部長）、山田委員、佐久間委員、片山委員、重見委員、河井委員（代理：片岡建設専門官）、中井委員、南委員（代理：中嶋主任）、藤井委員（代理：永島主任）、石川委員、阪垣委員、竹江委員、惣引委員

## 4. 議事次第

### 1 開会

### 2 審議事項

- (1) 令和4年度東広島市地域公共交通会議決算の承認について
- (2) 小谷地域公共交通（おまるめ山バス）の運行計画の承認について
- (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画（R6～R8）について

### 3 報告事項

- (1) 海風バス無料試乗会の実施報告について
- (2) 東広島市自動運転・隊列走行BRT検討分科会の設置について

審議事項（1）令和4年度東広島市地域公共交通会議決算の承認について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長：ただいまの内容につきましてご意見ご質問等ありましたらお願いしたい。  
ご質問ないようなので、決算について合意したものと見なしてよろしいか。<一同同意>それでは令和4年度東広島市地域公共交通会議決算の承認については全会一致で同意されたものとする。

審議事項（2）小谷地域公共交通（おまるめ山バス）の運行計画の承認について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長：ただいまの説明に対しまして、ご意見ご質問等ありましたらお願いしたい。

○石川委員：バス停について、東広島警察署の担当の規制係が各バス停の場所や表示の関係

を調査しているので、規制係のほうからその点について説明させていただければと思う。

- 東広島警察署（規制係）：資料にある通りのルートを回って実際に乗降される場所・候補地を見させていただいた。中には、曲がり角や交差点に直近しているとか道幅が狭いとか、心配なところがあったので担当の係と調整を図って改善していくということで今話が進んでいる。安全・円滑を目指して、ベストな乗降位置やルートが定まるように調整を図っていきたいと思っている。よろしく願いたい。
- 事務局：地域と一緒に検討させていただいたルート、バス停での乗降箇所をお示しさせていただき、交通安全上の指導を受けているところ。今のところ、バス停の箇所の詳細は地図上でしかお示しすることはできていないが、乗り降りの車の回し方やこのバス停は置くのが非常に難しい箇所というところもご指導いただいているので、こちらのほうについては適切に指導を反映する形で運行計画のほうを策定し、正式な交通安全上の意見照会を公安委員会のほうにかけさせていただき準備をしている状況である。
- 塚井会長：そういう状況で進めていただいているところであるので、バス停の位置は概略図というふうに理解いただいて、タイムテーブルも、一応試走をされたのだろうと理解しているが、大体の形であるというように理解している。したがって、審議の対象となっているのはこの経路全体を承認して前に進めるかということだと思うので、その点いかがか。
- 鴨下代理：運賃の障害者等割引だが、小児の障害を持たれているお客様の運賃の考え方について、小児運賃の半額となるかどうか。
- 塚井会長：要件が重複されている方をどう扱っているのが標準なのか、事例についてご存じの方がいらっしゃるか。
- 鴨下代理：通常設定している運賃でいえば（障害を持たれている）小児は半額という形でやっている。
- 塚井会長：ありがとうございます。ということが標準であるということなので、決定のほうはもう少し検討していただくということだと思うが、ぜひ参考にさせていただきたいと思う。
- 事務局：ありがとうございました。持ち帰り、地域の方と協議させていただきたいと思っている。
- 塚井会長：その他いかがか。白市駅あたりについてJR西日本山口委員よろしいか。
- 山口委員：駅の乗り入れの話は今具体的にご協議いただいているところなので、内容については問題ないかと思っている。具体的にどこに停めるかというようなことはこれから調整と思っているので、大きく問題ないかと思っているところ。この機会に一点だけ。ご利用される方のインタビューやアンケートを取られている

と思っているが、住民の方がどこに行かれることを想定されとかいうところを教えてください。例えば白市駅で乗り換えて西条に買い物に行くとか。外から来られる人は基本的に想定されてないだろうというところだが、もし外から来る人を想定していると言うのであれば、例えば我が社のアプリでWESTERなどは運行経路や時刻を登録することが可能なので、そういったところを教えてください。

○事務局：ありがとうございます。想定する目的地につきましては、白市駅周辺の商業施設とか医療機関とかであり、日常の移動を想定している。白市駅のほうにも接続させていただく形をとっており、小谷地域の方が白市駅で乗り換えて各方面に行かれる想定である。またバス、地域間幹線系統と接続をするという状況なので、こちらについては若干想定しづらい面もあるが、広島空港方面だとかそういうところも接続できるような状況となっている。ご質問いただいた外からのご利用者というところだが、時刻表のほうでもお示しをしているが、隔日運行というところから、外からの利用者というのは非常に難しいと思っている。地域の思いとしては、最初の1年間というところは、系統図からも白市駅の中心部を振り子状態に運行しているというものとなっているが、できるだけ潜在的ニーズについて探りを入れながらやっていってみようというところを想定している。1年間のうちでニーズ等を確認しながら運行のほうを見直していく。1日で乗務員が交代しながら車両1台で運行するという制約もあるので、そういった中でできるかぎり、まずは地域のニーズを引き出していくというのが視点と理解している。

○塚井会長：コミュニティバスの外部利用というのは全国共通の問題であり、問題というか趣旨が違うという理解もあるが、乗っていただけるなら乗っていただきたいという観点もある。先ほどご紹介いただいたアプリも色々な種類がある。情報の更新についてはコストがかかるものである。いつの時点で更新されたものかはっきりしていれば参考になるというところで、見る人はそういうところを見て使っている人もいる。比較検討するには細かいところは決まっていないというところで、時刻、ルートがある程度固まってきたところでそういった検討も必要になるかと思う。どういったアプリを使っても結構かと思うが、必要があればぜひ積極的に情報共有いただきたいと思う。

実験をするとは謳ってはいないが、1年間のなかで試行錯誤をするというように理解したが、その点いかがか。

○事務局：認可上は正式な認可を取らせていただいて運行を開始するというものである。ただし運行開始から1年間をめどに様々なニーズが分かってくるので、そこで試行錯誤しながら運行改善等に取り組んでいくということを地域と申し合わせをしているところである。

- 塚井会長：この先見直しがかかるかもしれない形で運行されるというのは運輸支局としてはいかがか。今までの例からアドバイスいただけることがあれば。
- 中井委員：一度認可をしたものにおいて1年経ったら変更しないといけないという決まりがあるわけではないので、やっていくなかで何か変更したほうがよいということが生じればその都度変更するというのは問題ないと思う。実際使われる方に事前にそのようにある程度周知しておくのは受け入れやすいと思うので、そういった意味で1年をめぐりに見直しをするということで事前にアナウンスするのはよいと思われる。
- 塚井会長：ありがとうございます。その他いかがか。本案について判断を行いたい、小谷地域公共交通（おまるめ山バス）の運行計画の承認について承認したものとしてよろしいか。＜一同同意＞同意したものとする。

### 審議事項（3）地域内フィーダー系統確保維持計画（R6～R8）について

○事務局：＜資料説明＞

○塚井会長：ご意見ありましたらお願いしたい。

大きな整理としては特段問題ないかと思っている。先ほどの割引運賃、障害者割引の話について、7ページ以降に記載があるが、障害者割引の運賃が100円という書き方になっているが小児が半額の50円ということであれば修正いただければと思う。

それではただいまの地域内フィーダー系統確保維持計画について同意したものとしてよろしいか。＜一同同意＞ありがとうございます。先ほどの運賃の関係も含めて修正の可能性も残っていると理解している。承認内容につきまして字句等の微修正が必要となった場合は、会長に一任いただきますようお願いする。

### 報告事項（1）海風バス無料試乗会の実施報告について

○事務局：＜資料説明＞

○塚井会長：説明についてご意見ご質問等ありましたらお願いしたい。

○佐久間委員：私も無料試乗会に3日間かけて3便に乗車させていただいた。そのときに運転手の方と色々お話をしたが、運転手の方が一人ひとりのお客さんに対して非常に親切で、誰々さんが病院で1週間に1回とか1か月に1回使われているなどすべて把握されていて、おばあさんが今日バスで県病院に行くと言っていたがおられないので家まで様子を見にいったら、倒れていらっしまったんだというお話もあった。地域の高齢者の方には大事な交通手段になっていると思う。高齢者の方が家の中にこもらずもっともっと外に出て活動して、ほかの人と喋ったり楽しんだりできるように、アイデアを出しながら、サロ

ン活動だとかみんなでバスに乗って花見に行くだとか企画ができたらなと思っている。

○塚井会長：ありがとうございました。公共事業といいますか、バス事業というふうにと考えるとなかなか厳しいところであり、収支という論点でいくとこれも厳しいところもある。運行改善に関わる点については、可能なことであるか、大体難しいことが多いが、それは検討いただくとして、こういう情報を町内のなかですっきりアピールいただくことは大事だと思う。バス事業に関する費用負担は増える傾向にある。意義のあるものに関する支出は認められると思うが、逆に意義が薄いとされると相対的に他の事業に予算を回されることになる。これは省庁として税金を扱っている以上当然だと思うので、意義については、外向けにもそうだが中向けにも訴えていただきたい。

2番目は、無料試乗会の意義について。実施の仕方は色々な形もあるかと思うが、なにせ乗っていただかないと、ということは正しい。いずれにしても立ち上げたときから熱量が下がっていくのが普通で、それは止めようがない。いくら事務局が普通通りきちんと運行していても、立ち上げのときに苦労したバスも苦労して従事された方がどんどん去られていくと興味関心が薄れていくのは当然のこと。無料試乗会をするということはそこを回復することができる。手間をかけずにやるということであれば、無料チケットを配るとか、ただそれだと情報収集にはならないので組み合わせ方は考えないといけないが、大規模にやらなくても特定の機会を見つけて乗っていくなど色々なやり方があると思うので、ぜひそれについてはご検討いただければ。そのほかよろしいか。

#### 報告事項（2）東広島市自動運転・隊列走行 BRT 検討分科会の設置について

○事務局： <資料説明>

○塚井会長：ご意見ございませんでしょうか。

○井上副会長：自動運転のバスが東京オリンピックで走ったが、一旦人と接触したような事故を聞いたように思うが、それからバスは新しく改良されたものなのか。

○事務局：東京パラリンピックのときの件だと思う。非常に大きなニュースになったという印象を受けている。あのニュースのインパクトが自動運転を研究されている方にとっては、どのような対応ができるかというところがあった。我々東広島市の方でも、その当時広島大学周辺で走っていた自動運転に際しても安全対策を徹底するようという形で、一旦自動走行を中断したというようなこともあった。全国では今様々なタイプの車を自動運転という形で実証運行されていると認識しており、その中でも若干事故があったりということもニュースで流れている。そういった中で、本市のほうでもこれらの取り組みを

していくにあたっては、安全を最優先に J R 西日本の技術部隊の方と取り組みを進めていく中で、J R 西日本の方では滋賀県のほうにテストコースを設けてその中で様々なパターンを安全かどうか検証されていると聞いている。実際我々の方も見させていただく中で本格的なテストコースで実証試験されていると認識している。我々市として、自動運転という新たな技術というものもしっかり地域として実証フィールドとして支えていくというところもあるが、取り組みとしては先ほどの通り、都市拠点における公共交通の機運強化に向けた取り組みであり、安全対策に十分に留意をして取り組んでいきたいということを分科会等も含めてメンバーのほうで協議をしていきたいと思う。

- 山田委員**：確かに 2、3 年前に広島大学の方で自動運転の実験を進めていた。もうすでに何年か前から自動運転ということで非常に長い間テストされていたと思う。しかし今の法律のなかでは厳しいということで、近い将来というのは厳しいですよということで終わっていた。しかしながらどんどん日進月歩色々な様々な研究をされ、約 2 年は経っているので、皆さんが取り組まれている内容はまた全然違う形のバスと聞いているので、まずはこういうことからスタートして色々な形でテストしてそれを重ねながら今からの問題をやっていく。将来に向かって、まずは現場で試してやるということが、第一の優先だと思うので、その辺は安心していただいて、また実行になる、ならないもいろいろな壁があるが、その辺はまたしっかりとみていただければと思う。
- 塚井会長**：日程について少し確認だが、今年度内で 16 ページ 10 月から 2 月車両走行を予定されているということだがこれはもっぱらこの環境の中で走らせるということが目的で、どなたかを乗せたりまでは今年度内では企画されていないということか。
- 事務局**：利用者を乗せて走るのかということだが、今ご説明させていただいている 10 月秋ごろから 2 月ぐらいという形になるが、実際に見慣れないバスが走るのが秋ぐらいから、チューニングを 1 か月、2 か月ぐらいかけてその中で実際に自動運転や隊列走行というところをその一定区間の中でやっていくということで、そのチューニングが終わった際の本格的な実証自動運転の期間に入ったときに、そこは一般の方に試乗いただけるような告知をさせていただいて、社会情勢も含めて取り組みを進めていきたいと考えている。
- 塚井会長**：そういうことで 期間の前半と後半で趣旨が変わってくるということで予定されているということと理解した。その他いかがか。
- 山田委員**：今の件ではないが、タクシー料金がこの 26 日から運賃値上げで非常に上がっている。この件については広島のグランヴィアで 23 日に広島県下のタクシー事業者、広島市、呉市、福山市、東広島市の業者で運賃懇談会をさせていた

だいている。懇談会では、タクシー事業においてコロナ禍から今どういう状態かということを具体的に資料を皆さんに見ていただいて、売上げの低下、乗務員の減少、燃料代のコストアップということで、約半日皆さんとお話をさせていただきながら、説明させていただいている。東京を先行に、京都、広島、先日は大阪という日本全国で運賃上げをさせていただいている。今回約15%アップということで、初乗り660円、全国がこういう形で取りまわせていただくので、この場をお借りしてご報告させていただきたい。それから現在、タクシー事業者の観光バス事業ということで事業再構築補助金が国から出ている。観光事業として今後地元の観光をもっともっと盛り上げていこうということで、タクシー事業者が今、のん太の酒蔵から西条駅までおよそ朝9:30から18:30まで約2両のバスで往復している。今週のプレスネットにご報告させていただいていると思うが、それを見ていただければ、時刻表やどの市でこういった事業を行っているなどご説明しているので、こういう形のバスが今走っていますというご理解と、また今後観光事業での補助金は続いているので、ほかでも補助金に申請をすれば国が認めればバスが走るということで、お金のほうは全部国が出していただいてちゃんとしたコースを決めて報告をさせていただきながら実行して、という形で6月から12月まで現行は動いているので、そういったこともできるということで認識していただき、東広島市においてまだこういうことを利用しながら運行できるのではないかと理解しているので、タクシー事業者としてご報告させていただきました。

○塚井会長：その他いかがか。ただいまの報告事項(2)について、進みましたらまたご報告ということになると思うので、本日はここまでとさせていただきます。

以上